



瀧本 孝一 議員  
(市民クラブ)

一括質問方式

【その他の質問】

○「子育てするなら遠野の定義と支援策について」

### 自主財源確保の 多様な取り組み姿勢は

問

国の借金が一千兆円を超え、厳しさが増す財政状況の中で、健全財政計画との整合性を図りながら努力している姿勢は一定の評価をする。

答

国は「企業版ふるさと納税」制度の仕組み作りを進め、それに合わせた対応を目指し調査を進めている。返礼品付きふるさと納税は、6次産業との連携を含め「遠野らしさ」にこだわり、納税という基本スタンスを崩すことなく見直しを図ることが出来るかどうか、検討を進めている。第3次健全財政5ヶ

姿勢や考えは。

年計画の中で、①税負担の公平性確保と収納率向上を目的とする「市税等収納対策プロジェクト」の推進、②3年に一度の使用料・手数料の見直し、③遊休地の積極的な貸付けや売却、④市有林立木の計画的な売却などを積極的に取り組んでいる。

### 選挙権18歳以上改正で 若者への対応は

問

公職選挙法が改正・施行されることにより、20歳以上だった選挙の投票権が18歳以上に引下げられ、未成年者への参政権が与えられることになった。

この改正に伴う若年層への啓蒙・啓発や、投票率向上への取り組みについて選挙管理委員会の対応は。

答

若者の投票率の低さは全国的に大きな課題である。本市の平成25年7月や平成26年12月の国政選挙では、20代は90代を除いて30%台と最も低い。



若者よ 選挙に行こう

### 松くい虫対策とアカマツの 利用拡大を

問

松くい虫被害の更なる拡大が懸念される。今までの対策の成果と実態はどのように推移しているのか。

答

市内でも東へ拡大している。発生量は年々増加し、平成26年度で959立方メートルとなっている。松くい虫被害対策地区実施計画を策定して駆除などを実施している。今までの駆除防除に加え、アカマツ林を伐採して別

問

の樹種転換事業に取り組んでいる。被害先端地域を中心に対策を講じているが、発生する被害量が多い状況である。

答

樹種転換には林家の経済的負担が伴うと思うが、負担軽減のためにも被害を受ける前のアカマツの活用を考慮すべきでは。遠野市の集成材は高く評価されている。木工団地を核とした新たな森林資源の活用に向けた取り組みが必要ではないか。

問

植栽や保育作業に投資してきたため、被害に遭う前に伐採し用材として使用されるのが望ましい。木工団地の機能を生かした活用を検討したい。活用できない材は木質バイオマスエネルギーに利用していく。

### 森林認証の取得を

問

森林認証制度の需要が見込まれ、木材の活用を優先するなどのメリットがある。市有林も含めた市の林業政策にどう受け止めるのか。

答

新国立競技場では、森林認証を受けた木材を使用すると表明された。認証木材に対する

意識が高まることを想定した認証木材として考えていかなければならない。認証制度には、木を育てる山づくりに対する川上側と、伐った木材を加工する川下側がある。県内でも自治体や民間企業が取得しており、その面積は32,156ヘクタールになっている。

取得によって、後世まで続く持続可能な森林経営が可能になり、認証木材の需要が高まると供給元になることができる。また、環境に配慮した森林経営を対外的にPRできる点などがある。遠野市としても森林認証の取得へ向けて検討していきたい。



木工団地内の工場



日本の未来と自分の将来を  
しっかり考えよう



多田 勉 議員  
(躍進とおの)

一問一答方式

【その他の質問】

○観光施策に対する民間力を含めた取り組み体制の確立を

新国立競技場では、森林認証を受けた木材を使用すると表明された。認証木材に対する